

平成28年度  
優秀賞

# 株式会社鹿児島銀行

## 会社概要

株式会社鹿児島銀行は、1879年に第百四十七国立銀行として創設され、平成27年度時点で県内約140箇所の支店、出張所で普通銀行業務を行う地方銀行である。

主なエネルギー使用は、各店舗での照明、空調等である。

事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出削減に取り組む「エコ・エコ運動」や各店舗の照明・空調設備の計画的な更新を行っているほかCSR活動の一環として、森林の整備なども行っている。

## 削減実績

CO<sub>2</sub> 排出量削減率 18.9%達成（平成22年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成22年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成23年度～平成27年度）の平均排出量を評価した。

## 実施した対策

### 「エコ・エコ運動」の実施

平成22年度から、全室部店にて使用電力削減や3Rを推進する「エコ・エコ運動」に取り組み、本社に毎月の電気使用量や取組内容を報告する体制をしている。電気使用量が増加している場合は、原因の聞き取りなどを行い、省エネ・節電の徹底を図っている。

### 高効率機器への更改

平成24年度に全店舗の執務室、ロビ一直管型照明器具のLED化し、その後も継続的な更新を実施している。また、老朽空調機の更新も毎年、計画的に実施しており、電力使用量の削減につなげている。サーバ関係設備においても、統合・集約化による省エネを実践している。

### 再エネ設備の設置

松元支店に、36kw規模の太陽光パネルを駐車場の屋根に設置している他、5店舗に再エネ設備を設置している。

### エコ店舗認証制度

「エコ・エコ運動」を開始した平成22年度から平成26年度にかけて、店舗における電力消費を前年度と比べて5%以上削減した店舗を「エコ店舗」として認証する制度を独自に設けており、平成24年度は約100店舗、平成25年度は約80店舗が認証されるなど、各店舗における省エネ・節電への取組が浸透している。

### 森林整備の実施

平成20年4月、鹿児島県と「かごしま環境パートナーズ協定を締結し、毎年その一環として、県有林の整備や間伐によるCO<sub>2</sub>吸収量の認証を受けている。

今後は、各店舗での省エネ・節電及び老朽空調機等の更改を継続して行く予定である。



店舗照明のLED化



高効率空調設備の更新